

# 地球温暖化ガスの削減

地球温暖化は、環境問題のなかでも大きな課題となっています。シチズングループは、エネルギー使用量削減のためにグループ全体でさまざまな取り組みを行っています。

## 地球温暖化ガスの排出量削減

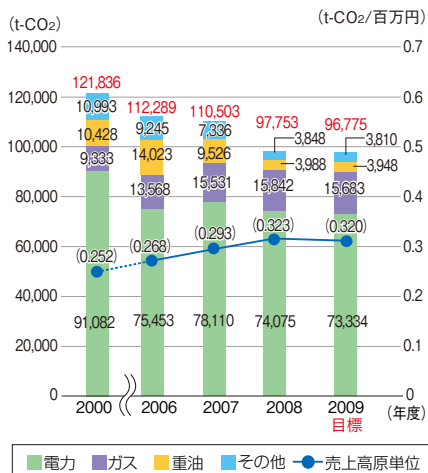
シチズングループではCO<sub>2</sub>排出削減を効率的にかつ着実に進めるため、「エネルギー削減分科会」を設置し、各事業所の事例を発表しあって、互いに有効な活動を取り入れながら省エネ活動に努めています。

2008年度は、グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量を「売上高原単位で2007年度比1%削減」「総量2007年度比1,500トン削減」という目標に対し、経済の悪化のため総量では12,500トンの大幅な減少となりましたが、売上高原単位では10%の増となりました。なお総量では2000年度比20%の減少となっています。

2009年度は、グループ全体で総量1,500トン削減および売上高原単位1%削減をめざします。

CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス(5ガス)については、CO<sub>2</sub>換算で、2006年度679トン、2007年度575トン、2008年度337トンとなりました。

### シチズングループのCO<sub>2</sub>排出量推移



### 事例紹介

シチズンファインテックミヨタ

#### 「地球温暖化ガスの削減」(燃料転換の実施)

御代田町地域新エネルギービジョン策定事業にあわせた燃料転換を実施しました。経済産業省および環境省による、燃料転換推進事業の補助金を受け、2007年度より、一部の灯油燃焼設備を都市ガスに切り替える工事を行いました。

実施内容としては、ガス管の敷設、老朽設備更新、バーナー<sup>\*</sup>改造などです。2007年度と比較して、目標削減量934t-CO<sub>2</sub>を上回る約1,888t-CO<sub>2</sub>(2月現在)の削減量を達成しました。



吸収式冷凍機の更新

<sup>\*</sup>バーナー：ガスあるいは気化した液体燃料などを空気と混合させ高温を得る装置

### 事例紹介

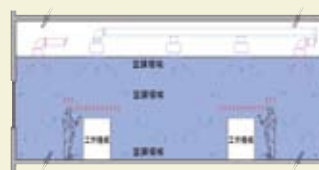
シチズンタ張

#### 新空調方式の導入

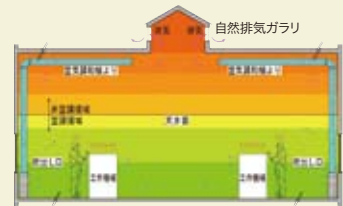
2008年10月より稼働した新工場に省エネルギーを目的として、空調システムに置換換気空調システムを導入しました。

従来の空調システムのように、部屋全体の空気をかき混ぜる方式(混合空気方式)と異なり、排熱を拡散させることなく効率的に除去する空調方式(置換換気方式)です。これは、工場内の工作機械により発生する排熱の上昇気流を利用し、暖かい空気を下から上に静かにもち上げて、換気(空調)を行います。

空調に必要な循環風量は減少でき、送風機の動力を抑えることができます。また、積極的に外気を導入し、冷凍機の稼働時間を少なくしています。なお現在は、効果算出のため、データを収集中です。



【従来の混合空気方式】



【置換換気方式】

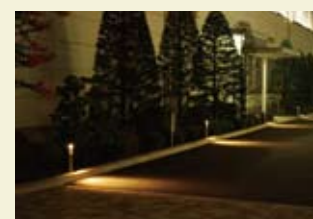
### 事例紹介

シチズン電子

#### オフィスでの省エネ

約10年前から環境管理活動の一環として、省エネ活動の定着化を図ってきました。オフィスエリアでは、当初から全社的に昼休みの消灯、JIS照度基準に照らしあわせた間引きなどを実施してきました。最近では、蛍光灯カバーへの反射板の設置(照射の効率化)、建物の南側の窓ガラスへの遮光シールの貼付(断熱効果)なども行い、省エネに成果をあげています。

また、低消費電力・長寿命・水銀レスという環境にやさしい照明用のLEDを開発し、製造・提供しており、シチズン電子製のLEDを使用した照明は本館エントランス、構内などに導入しています。今後もLED照明化を進め、省エネを加速していきます。



構内LED照明